

庄内の美術家たち 9



鶴岡アートフォーラムでは、庄内地域の芸術文化の動向をたどり、郷土ゆかりの作家と作品を紹介する展覧会を今年度も開催します。シリーズ第9回目となる本展では、明治以降の庄内の日本画壇に目を向け、画僧市原円潭の画業を振り返るとともに、花鳥山水を得意とした石川拜山とその門人である大滝雨山、大瀧月窓を取り上げ、文人画の系譜をたどります。文化14（1817）年に生まれた市原円潭は、はじめ狩野探淵に師事し、日本各地を廻って大和絵や文人画も学びました。京都大徳寺で魅せられた「五百羅漢図」を模写するために鶴岡の大督寺で仏門に入った円潭は、仏画を多く描いた画僧として知られています。石川拜山は明治元（1868）年に東京で生まれましたが、母親が庄内藩中老菅実秀と再婚し来鶴します。色彩豊かな花鳥画をよくし、井岡寺や本鏡寺にも絵を残しています。彼の門人として知られるのが大滝雨山と大瀧月窓です。ともに円潭門下でも画技を学んでおり、上京して中央画壇でも活躍します。幕末から明治へと時代が変わるなかで、西洋文化の普及は日本画壇に大きな影響を与えました。伝統的な日本画から、西洋美術に対抗しうる、さらに一歩進んだ新日本画の創造が叫ばれるようになり、その後、昭和にかけて日本の美術は大きな変貌を遂げていくことになります。そうした時代の移り変わりのなかで、伝統を重んじながらも、独自の画技を磨いた人物たちの約50作品を展覧します。



- (左上) 市原円潭「竹に鷹図」制作年不詳
紙本着色・軸装・一幅 致道博物館蔵
- (右上) 大滝雨山「月に木菟図」大正2（1913）年
絹本着色・軸装・一幅 個人蔵
- (左下) 大瀧月窓「達磨図」制作年不詳
紙本墨画淡彩・軸装・一幅 個人蔵
- (右下) 石川拜山「松に鷹図」昭和13（1938）年
紙本着色・衝立・一面 本鏡寺蔵

ギャラリートーク

2月15日（土）、3月1日（土）各回 14:00～15:00
学芸員による作品解説を行います
申込不要、会場へ直接お越し下さい（観覧券が必要です）

アトリエ事業のご案内

銅版画講座 ～エッチング技法でグリーティングカードを作ろう

講師：八木文子（山形大学地域教育文化学部准教授）
日時：3月1日、8日、15日（いずれも土曜日）13:30～16:30
対象：鶴岡市に在住、または通勤・通学している方（高校生以上）

春休みだよ！ビニプラ工作ワークショップ

ビニールやプラスチックの素材を使って透明な船を制作します
宙につるして飾りましょう
講師：イシザワエリ（東北芸術工科大学卒）
日時：3月23日（日）10:00～12:00
対象：鶴岡市内の小学生

*費用などの詳細は講座チラシまたは広報つるおか2月号をご確認ください



鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051
E-mail: info@t-artforum.net URL: http://www.t-artforum.net